浅草，守門岳　'94、5．2～4

武部　慎

5月2日　◎，●　浅草岳へ

前日の雨もなんとか止んだものの、山の上部は雲の中にある。昨日は、雨だったから浅草山荘に宿泊して良かったと思う反面、出発が少し遅くなるのが気になる。山荘の上のテントパーティのトレースを追う。30分も登らないうちに、小さな沢を渡るがいきなりここでつまづく。彼らは気にせずシールをつけたまま渡っているが、雪の厚みがなく、くぼんでいて僕が登れば落ちると思われた。渡れないまま沢沿いを登り、くぼんでいる幅が狭い所を見つけて、スキーをはずし、スキーとストックは1ケずつ対岸へ投げて、自分はザックを背負って対岸へ飛んだ。やれやれ。5分も行かないうちにトレースが消え、再びトレースに戻る。2本目の小沢も彼らは小さなスノーブリッジをシールのままで通過しているが、とても強度がなく渡れないので、すぐ近くの所をツボ足で又飛んだ。又5分も行くとトレースが消えた。雪がないのだ。スキーを手に持って、樹林帯の急斜面を越えると、そこに赤布があった。ここからはほとんどトラバースして、ムジナ沢の隣の小沢をつめた。多少水が出ている所もあったが、問題はなく　820m近来られ、ムジナ沢に入った。何ケ所も水がゴーゴーと流れていてそのすぐ上もトラバースしながら登っていく。雪もくさり気味で精神的に緊張する。極めつけは930mの所で、ツボ足になって5m程登る。滝近2ケ所水が出ているが、これらは問題ない。滝の前の1050mの左カーブ（下から見て）はデブリで埋まっていた。この左カーブに来る頃に、今迄見えていた守門岳が雲の中に消えてしまった。（下黒姫沢、上黒姫沢及びたたの尾根も偵察できて良かった。）沢が大きく右に曲がり滝が見えた時雨が降り出した。もし、3m先が見えないようなガスになれば水流に落ちると思いあせって大急ぎ準備をし、水流に気をつけながらアッという間に滑降した。始めの小沢もスピードをつけて突破した。

5月3日 ◎，① 守門岳へ

昨日はテントに泊まったが、夜中にみぞれが降った。今日は下黒姫沢から守門岳を目指した。車道終点からトラバースは雪がなくて無理なので、ツボ足になって小さな急な沢を滑りて下黒姫沢へ滑りた。すぐそばはかなりの水流が流れていたが、水流際を行けると思った。左カーブはインコースも登っていたので行けた。右カーブに入る直前のスノーブリッジを渡ったが、そこから先にはスノーブリッジがなく行けない。標高はまだ580m。しかたなくスノーブリッジを戻り、50度位の急斜面を高巻く。途中からツボ足になった。ここならばと思う所で沢へ降りようとしたが、あと10m近くて、水流が見えた。再び登り高巻く。沢幅も広くなっている所で降りようかと思ってよく見ると全体的に雪がくぼんでいることがわかった。危険なのでやめた。尾根に直上することに決めた。標高差500mの急斜面もツボ足で登った。尾根近雪が続いていて良かった。

さて、尾根上を守門岳を目指して行くと由に7つのピークがあり、一部は急で雪が付いていない所もあり守門岳へはあきらめた。登ってきたルートを滑る自信はない。パクパクアンドーナッを食べて浅草岳，守門岳，下黒姫沢上部を見ながらいろいろ考える。タモ沢は中流部が問題で、そこが見えないからはずれた。結局ここからほとんど全部見える隣の尾根コースが最も斜度が緩く、すべて雪が付いていてなんとか滑れるコースと思われ、下降ルートが決った。隣の尾根へはタモ沢上部を滑り、登り返した。最高のスロープでこのまま滑ってしまいたかった。上部の快適さから、中間部の樹林帯、下部のスノーブリッジの判的となかなか充実したコースをたどり、車道に出てホッとした。あとは直滑降で橋に着いた。

明日は雨だと思い、大白川の民宿に泊った。

5月4日 ◎ 浅草岳へ

今日は雨のつもりでいたが雲なので浅草岳へ再チャレンジした。2日の日よりも出発が遅いのを、1度行ったルートだから迷うこともないので取り返せると思った。2つの

小沢を渡るポイント、スキーを持って樹林帯を行く所まで迷うこともなく820m近のムジナ沢入口に来た。今日は気温が高くすでに雪がくさっている。シールでは滑るのが目に見えているので、ツボ足で水流際をトラバースした。極めつけの930mの所は、たった2日の差で全く違う。2日の日はスキーをつけて降りられたが、枝が出ていてしかも幅が20cm、長さ3m、高さ50cm位の雪がたぶん岩の上に載っていて、そこを通過しなければならない。雪を踏み抜いても、崩しても、滑っても水流へ転落する。思ったより雪が堅く突破することができた。その上は全体的にくぼんでいたので、端を歩いて安全な所に出てからシールで登り始めた。結局、2日の日と同じコースタイムになってしまった。滝の前のデブリの所からムジナ沢を離れ滝を大きく高巻きにかかった。この辺でトラバースすればよいかなと思いムジナ沢に寄ると、滝の上でゴーゴーと水流が現れていてとても降りられなかった。しかたなくさらに大きく高巻き、次の小沢（すべて雪で埋まっていた）からムジナ沢に降りた。すぐに二俣となりを左に入った。しかし、近二俣に来ていないのではないかと思い、滝の直後の二俣に違いないと思い右を登ることにした。すでにどちらもトレースは消えていない。どんどん登り、次の二俣を左にとった。稜線の直前で雪が消え、そこからはヤブコギがひどいので戻ることに決めた。突然、急斜面でバランスを崩す程の突風が吹き、ビックリした。後でわかったが、ここは前岳～鬼が面山間の1452ピーク（2万5千分の1）であった。快適な滑降で二俣へ。もう二時だから降りることにした。もし、930mの雪がなくなっていたら、1時間はロスする。それを考えるとすでに遅すぎる。途中で雨でも降れば下部の2本の小沢の横断にも時間がかかる。そう思いながらもと来たルートをたどる。無事に滝の高巻きを越え、930mの所を祈る気持ちで突破し、ムジナ沢から離れるとホッとした。上の小沢も、下の小沢もスノーブリッジは落ちて、雪の量もガクッと減ったように感じた。そのお陰で、水際がよく見え渡りやすくなった。無事に茂草山荘に着き、茂草岳への山スキーはシーズンは今日が最後という実感を持った。

5月2日　浅草岳へ
浅草山荘　8:10 ― 滝　10:30，45 ― 山荘
11:40

5月3日　守門岳へ
駐車場　5:50 ― スノーブリッジ　7:00 ―
直上開始　8:00 ― 1090mピーク　10:30，
11:40 ― 1099mピーク　12:30 ―
林道　13:20 ― 駐車場　13:40

5月4日　浅草岳へ
浅草山荘　9:10 ― 高巻き11:40 ― 1452ピー
ク直下　13:20，40 ― 山荘
16:00

2012/09/25 12:02

守門岳
黒姫
入広瀬村
大白川新田
大白川
五味沢
浅草山荘

破間川
石沢
白崩沢
本沢
大千本沢
浅草山荘
村杉沢
前岳
浅草岳
大きく高巻く